

2025よもぎた村民祭「よもぎた川柳選評会」 一般の部 「村」

五客	盆休み我も訛りも里帰り	神奈川県	和田一真	村独特の「訛り」を忘れない、忘れられない作者に乾杯！
	村自慢野菜と人の味が濃い	三重県	橋本英幸	「野菜」も「人」も「味が濃い」方がいいですね！
	赤ちゃんが生まれて村はお祭りに	神奈川県	ほのぼの	「赤ちゃん」の持つ力は偉大です。村にエネルギーを与えてくれます。
	空き瓶に村の欠片を入れておく	三沢市	守田啓子	お気に入りの「村の欠片」を「空き瓶」に入れて未来へ伝えましょう。
	村祭りスマホ構えて鬼が舞う	東京都	とかか	「スマホ」を持った「鬼」が踊るという発想がダイナミックでおもしろい。
人位	村という何だかホッとする響き	大阪府	だいちゃんZ！	「村」というものに「ホッとする響き」を感じるという作者独特の感覚が何とも言えない魅力になっている。「村」を見る優しい眼差しが感じられます。
地位	帰省するオイラを村が抱きしめる	千葉県	夢追い人	この句の魅力は句の後半「村が抱きしめる」にある。作者は、「村」に「抱きしめて」もらうためにふるさとの村に帰るのである。いつまでもそうあって欲しい。
天位	ヤマセ吹く帰りたくなる村がある	青森市	小雪	「ヤマセ」は、冷たく湿った北東の風で、これまで何度もわが村に冷害をもたらした。作者は、そのマイナスイメージが強い「やませ」をあえて句の中心に据え、句を躍動させています。「やませ」さえも恋しくなるふるさとの魅力、「村」の魅力をうまく歌い上げています。